

2022年度 事業報告書

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

公益財団法人 日本感染症医薬品協会

I. 公益事業

1. 普及啓発

(1) 機関誌及び刊行物等

① The Journal of Antibiotics

Vol.75, No.4~12 及び Vol.76, No.1~3 を毎月 27 日に発行した（総論文数 82 編、714 頁）。

また、2022 年 6 月 14 日に本協会会議室において、国内編集会議を開催した。

2022 JA Ōmura Award の投票が行なわれ、次の論文が確定した。メダルと賞状の授与は 2023 年度に行なわれる。選考対象論文：Vol. 72 (2019) – 74 (2021)

Review article

受賞論文：Splicing modulators: on the way from nature to clinic [Vol.74, p.603, 2021]

著者：Tilman Schneider-Poetsch, et al.

Article

受賞論文：

Azithromycin, a 15-membered macrolide antibiotic, inhibits influenza A(H1N1)pdm09 virus infection by interfering with virus internalization process [Vol.72, p.759, 2019]

著者：Dat Huu Tran, et al.

② The Japanese Journal of Antibiotics

Vol.75, No.2~4 を 2022 年 6 月、9 月、12 月の 25 日に、Vol.76, No.1 を 2023 年 3 月 25 日に、電子ジャーナルとして発行した（総論文数 6 編、70 頁）。

また、2023 年 2 月 6 日に本協会会議室（一部リモート参加）において、編集会議を開催した。

③ 感染症と感染症医薬品に関する啓発資料等の作成

一般の方を対象とした啓発動画（①ワクチン接種の大切さ、②抗生物質（抗菌薬）で今問題となっていること）を作成し公開した。

(2) 講演会

① 記念講演

1) 住木・梅澤記念賞の受賞記念講演

2022 年 11 月 24 日

[主婦会館]

受賞者：五十嵐 康弘（富山県立大学工学部）

受賞講演：「分離源と分離群に着目した微生物由来有用生理活性物質の探索に関する研究」

2) 日本感染症医薬品協会奨励賞の受賞記念講演

2022年11月24日

[主婦会館]

受賞者：川筋 仁史（富山大学学術研究部）

受賞講演：「COVID-19 ワクチン個別最適化に向けた微量全血での中和活性評価系の確立と実証」

② メディカル・サイエンス セミナー

1) 2022年7月11日

[学士会館]

講師：具 芳明（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）

講演1：「AMR 対策アクションプランの成果と今後の課題」

講師：押谷 仁（東北大学大学院医学系研究科）

講演2：「疫学からみた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策とその課題」

2) 2022年11月24日

[主婦会館]

講師：舘田 一博（東邦大学医学部）

特別講演：「パンデミックとサイレント・パンデミック ～COVID-19 から学ぶ危機管理としての創薬促進～」

3) 2023年1月16日

[学士会館]

講師：國島 広之（聖マリアンナ医科大学感染症学講座）

講演1：「COVID-19 とインフルエンザ」

講師：上原 健城（塩野義製薬株式会社）

講演2：「COVID-19 パンデミック下における経口コロナ治療薬の開発と今後の展望」

③ 出張講演

新型コロナウイルス対策のため、中止とした。

(3) 行政機関及び内外の諸団体との連絡、協力及び交流

① 行政機関との連絡及び協力

1) 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課

薬剤耐性対策の一環として、貴重で重要な薬剤の適正使用に努めるため組織された「バンコマイシン研究会」が2022年11月16日に、「リネゾリド研究会」が2022年12月7日に開催され、担当官が出席した。

2) 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課

医薬品審査管理課担当官とともに、2022年11月16日に開催された「バンコマイシン研究

会」、2022年12月7日に開催された「リネゾリド研究会」に担当官が出席した。

3) 厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課（旧経済課）

2022年4月25日、6月2日、10月20日、12月27日に開催された「βラクタム抗菌薬原薬国産化委員会」に担当官が出席した。

4) 経済産業省

厚生労働省 医政局 経済課担当官とともに、2022年4月25日、10月20日、12月27日に開催された「βラクタム抗菌薬原薬国産化委員会」に担当官が出席した。

② 内外の諸団体との共催、後援、連絡、協力及び交流

1) 第32回新薬創製談話会

2022年9月26～27日 [ハートピア熱海]

2) 第41回トラベラーズワクチンフォーラム研修会

2022年9月17日 [オンライン開催]

第42回トラベラーズワクチンフォーラム研修会

2023年2月18日 [オンライン開催]

3) 日本感染症学会／日本化学療法学会

第96回日本感染症学会総会

2022年4月22～23日 [オンライン開催]

第70回日本化学療法学会総会

2022年6月3～5日 [長良川国際会議場]

第71回日本感染症学会東日本/第69回日本化学療法学会東日本

2022年10月26～28日 [京王プラザホテル札幌]

2. 研究助成及び表彰

(1) 住木・梅澤記念賞

住木・梅澤記念賞選考委員会が、2022年7月14日、Web会議にて開催され、富山県立大学工学部 五十嵐 康弘氏が選考された。

(2) 奨励賞

日本感染症医薬品協会奨励賞選考委員会が、2022年7月22日、Web会議にて開催され、富山大学学術研究部医学系 川筋 仁史氏が選考された。

II. 共益事業

1. 月曜会

特別会員幹事会である月曜会が、2022年6月22日、11月9日、及び2023年2月22日に本協会会議室において開催された。また、月曜会開催時に、外部講師を招いて勉強会を開催した。更に、月曜会運営や協会活動への関与、協議を行うための、月曜会幹事会を適宜開催した。

2. 抗微生物薬等審査報告書データベース作成分科会

抗微生物薬等審査報告書データベース作成分科会は、承認分のデータを入れることとしている。

3. バンコマイシン研究会

バンコマイシン研究会が、2022年11月16日に、本協会会議室(一部リモート参加)において開催され、耐性菌発現状況及び販売数量について報告された。また、承認条件の一部について解除の相談があった。

厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課 担当官より、耐性菌の出現の有無、販売数量の報告を受けることは重要であり、継続してほしい、また、承認解除についての相談については検討したいとのコメントがあった。

4. リネゾリド研究会

リネゾリド研究会が、2022年12月7日に、本協会会議室(一部リモート参加)において開催され、感受性調査の概要及び対象菌種の収集状況、並びに出荷量について報告された。

厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課 担当官より、継続的に調査をしていくことが重要であるとのコメントがあった。

5. β ラクタム抗菌薬原薬国産化委員会

2022年4月25日、6月2日、10月20日、及び12月27日にそれぞれ委員会が、衆議院議員会館(一部リモート)において開催され、行政からの報告、会員会社検討状況の報告等がなされた。

III. 収益事業

1. 賃貸事業

本協会の建物のうち1階を一般財団法人機能水研究振興財団に、3階を認定特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会に、5階を日本機能水学会に賃貸している。また、4階会議室については、会議室として貸し出し可能である旨をホームページ上に掲載し、希望がある時に、随時、貸し出している。

IV. 管理

1. 理事会及び評議員会

第 39 回理事会	2022 年 5 月 12 日	[本協会会議室 Web 会議]
第 13 回評議員会	2022 年 6 月 7 日	[本協会会議室 Web 会議]
第 40 回理事会	2022 年 10 月 24 日	[本協会会議室 Web 会議]
第 41 回理事会	2023 年 3 月 13 日	[本協会会議室 Web 会議]

V. 物故役員等

元 JJA 編集委員	佐々木 繁 殿	(2022 年 4 月 4 日)
元評議員、元 JA 編集委員	青木 初夫 殿	(2022 年 4 月 11 日)
学術委員、元評議員	河田 幸道 先生	(2022 年 4 月 16 日)
元評議員、元 JJA 編集委員	豊永 義清 先生	(2022 年 4 月 23 日)
元評議員、JA 名誉編集委員	磯野 清 先生	(2022 年 4 月 23 日)
元評議員、元学術委員	熊本 悦明 先生	(2022 年 5 月 4 日)
元常務理事、元 JA 編集主幹	田中 晴雄 先生	(2022 年 7 月 9 日)
元評議員、JA 名誉編集委員	近藤 信一 先生	(2022 年 10 月 8 日)

VI. 特別会員

旭化成ファーマ株式会社	大正製薬株式会社
アステラス製薬株式会社	大鵬薬品工業株式会社
ヴィアトリス製薬株式会社	武田テバファーマ株式会社
栄研化学株式会社	武田薬品工業株式会社
エーザイ株式会社	田辺三菱製薬株式会社
MSD 株式会社	中外製薬株式会社
大蔵製薬株式会社	デンカ株式会社
大塚製薬株式会社	東和薬品株式会社
株式会社大塚製薬工場	日医工株式会社
科研製薬株式会社	日医工岐阜工場株式会社
杏林製薬株式会社	ニプロ株式会社
キリンホールディングス株式会社	ニプロファーマ株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社	一般社団法人日本血液製剤機構
KM バイオロジクス株式会社	一般社団法人日本ワクチンアクション
小林化工株式会社	ネオクリティケア製薬株式会社
サノフィ株式会社	ビオメリュー・ジャパン株式会社
沢井製薬株式会社	光製薬株式会社
参天製薬株式会社	ファイザー株式会社
サンファーマ株式会社	富士フイルム富山化学株式会社
塩野義製薬株式会社	マイラン EPD 合同会社
シオノギファーマ株式会社	マルホ株式会社
シスメックス株式会社	ミヤリサン製薬株式会社
住友ファーマ株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社
第一三共株式会社	モデルナ・ジャパン株式会社
	ヤンセンファーマ株式会社

[3月31日現在 49社]

VII. 月曜会委員

旭化成ファーマ株式会社

(岸田 三一・大橋 桃子・早川 享)

アステラス製薬株式会社

(加藤 研一・三木 隆司)

科研製薬株式会社

(小川 勝)

塩野義製薬株式会社

(吉田 博之・有安 まり)

住友ファーマ株式会社

(兼定 一希・若村 友太郎)

第一三共株式会社

(大江 慶司・藤谷 純章)

大正製薬株式会社

(杉山 寛行)

武田薬品工業株式会社

(大野 孝順・福田 滋)

田辺三菱製薬株式会社

(菅生 和正・増渕 聡)

ファイザーR & D 合同会社

(長島 正人)

富士フイルム富山化学株式会社

(地曳 康訓・藤巻 一雄)

Meiji Seika ファルマ株式会社 *

(近藤 賢一郎・諏訪田 圭介)

ヤンセンファーマ株式会社

(落合 秀和・中山 慶一)

[構成会社 13 社 (委員名) * 幹事会社]

* 月曜会 抗微生物薬等審査報告書 DB 作成分科会委員

大江 慶司 (第一三共株式会社)

地曳 康訓 (富士フイルム富山化学株式会社)

VIII. バンコマイシン研究会

ヴィアトリス製薬株式会社

(石川 淳)

大蔵製薬株式会社

(横谷 彰)

小林化工株式会社

(神尾 弘)

沢井製薬株式会社

(吉川 大輔)

東和薬品株式会社

(土屋 啓子)

日医工株式会社

(高瀬 宏樹)

日医工岐阜工場株式会社

(森 悦二)

マイラン EPD 合同会社

(藤本 隆則)

Meiji Seika ファルマ株式会社 *

(片岡 裕史)

[構成会社 9 社 (委員名) * 幹事会社]

IX. リネゾリド研究会

沢井製薬株式会社

(吉川 大輔)

日医工株式会社

(高瀬 宏樹)

ネオクリティケア製薬株式会社

(渡辺 昇)

光製薬株式会社 *

(石井 成佳)

ファイザー株式会社

(伊藤 弘)

Meiji Seika ファルマ株式会社

(片岡 裕史)

[構成会社 6 社 (委員名) * 幹事会社]

X. β ラクタム抗菌薬原薬国産化委員会

シオノギファーマ株式会社 *

(村嶋 康平)

Meiji Seika ファルマ株式会社

(渡辺 学)

ニプロファーマ株式会社

(花園 和人)

[構成会社 3 社 (委員名) * 幹事会社]

XI.Friends of the Journal

旭化成ファーマ株式会社

Asahi Kasei Pharma Corporation

科研製薬株式会社

KAKEN PHARMACEUTICAL CO., LTD.

杏林製薬株式会社

KYORIN Pharmaceutical Co., Ltd.

富士フイルム富山化学株式会社

FUJIFILM Toyama Chemical Co., Ltd.

Meiji Seika ファルマ株式会社

Meiji Seika Pharma Co., Ltd.

[法人 5 社]